

## 『学ぶ』とは



私は修学旅行の間、イタリアで4日間ほど過ごしました。イタリアでは世界遺産や美しい街並みを眺めるだけだと思っていたのですが、それは大きな間違いで、私にとってたくさんの発見がありました。例えば、古代から今日まで、ずっと長い間残されてきた遺跡は、その時の記憶そのものだと思います。まだ多くの人々が文字を知らなかった時代に、当時の人々は、自分たちが生きた証を残すために、あのような大きな建物や美しい建物を建築したのだ、と私は想像しました。建物、例えば礼拝堂、大聖堂、古代遺跡などの空間に入ると、今は亡き古代ローマ人と繋がっているような、私たちがタイムスリップしたかのような気持ちにさせられました。

私たちは古代ローマのような「歴史」を勉強します。ですが、ただ覚えるという作業で終わらせるのではなく、昔と今を関連付けて考えてみると、「歴史って面白いな」と感じ、「もっと知りたいな」と思えるようになります。

今回の修学旅行で感じたことは、「新しい事を体験したり、発見したりするということは、すべて学ぶということ」です。勉強をただ黙々とするのではなく、体験や発見を取り入れることで、充実した毎日が送れるということに気づかされた修学旅行でした。

